

第6回食品表示連絡会議 議事要旨

1. 日時：平成23年6月29日 13:00~13:40
2. 場所：消費者庁会議室61
3. 出席者：（消費者庁）
松田次長、原審議官、片桐表示対策課長、相本食品表示課長
（警察庁）
樋口生活安全局長、世取山生活経済対策管理官
（農林水産省）
奥原消費・安全局長、江渡食品表示・規格監視室長、星川米穀流通
監視室長
（厚生労働省）
医薬食品局食品安全部基準審査課（オブザーバー）

4. 議事要旨

- 松田次長より、第6回会議の開催にあたり冒頭挨拶が行われた。

議題1 食品表示監視協議会の強化に向けた取組について

- 相本食品表示課長より、第5回会議の申し合わせ事項に対する取組状況の説明がなされた。

議題2 東日本大震災を受けた食品表示の運用状況について

- 相本食品表示課長より、東日本大震災を受けた食品表示の弾力的運用状況について説明がなされた。
- 松田次長より、今後の対応として、アレルギー対策や夏に向けた食中毒の関係もあることから、当該通知の廃止に向けた調整を進めたい旨の発言がなされた。
- 奥原消費・安全局長より、この運用は特例措置であり廃止の方向性に異論はないものの、混乱が生じないような猶予期間の設定に配慮して欲しいとの発言がなされた。

議題3 各省庁からの報告

- 片桐表示対策課長より、22年度の景品表示法に基づく食品表示に係る措置命令事案、運用状況等に関する説明がなされた。また、景品表示法の執行強化のため、地方レベルの食品表示監視協議会に、公正取引委員会地方事務所の参画について農政局と調整中である旨の説明がなされた。
- 相本食品表示課長より、JAS法の指示・公表の指針の運用及び食品表示の一元化法に向けた取組に関する説明がなされた。
- 世取山生活経済対策管理官より、平成22年中の食品の安全に係る事犯の検挙状況について説明がなされた。
- 江渡食品表示・規格監視室長より、JAS法に基づく品質表示基準等の違反に係る指示及び指導等の実績に関する説明がなされた。

議題4 その他

- 星川米穀流通監視室長より、本年7月1日より施行される米トレサ法の紹介と、今後関係機関との連携を行っていききたい旨の発言がなされた。
- 奥原消費・安全局長より、食品表示一元化法のスケジュールに関する質問があり、原審議官より、今夏には検討体制が整うので、スケジュールを示すことができるよう検討したい旨返答があった。

－以上－